

「安倍政治」の転換を

松江 中国5県一斉宣伝 尾村県議、市議団らが宣伝

松江市では18日、日本共産党の尾村利成県議、吉儀敬子、田中はじめ両市議、舟木けんじ、たちばなふみ両市議予定



候補、岩田剛東部地区委員長が商店街前で宣伝し、「内政、外交、政治モラル、新型コロナ対策で行き詰まった『安倍政治』を継承する菅政権に未来はない。いま求められていないのは、安倍政治が残した数々の負の遺産を一掃し、大本から転換することだ」と述べ、「市民と野党の共闘勝利と日本共産党の躍進で政治の未来を切り開こう」と呼びかけました。(写真)

尾村県議の質問(続き)

コロナから県民のくらしを守る

尾村県議は、コロナ感染拡大を抑止するために「検査によって感染拡大を抑え込む立場」に立つことが重要であり、「PCR検査は診断目的から防疫目的の観点で実施する時だ」と指摘。医療機関や福祉施設、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR等検査を行い安全・安心の社会基盤を

代表質問や衆参予算委員会での論議で菅政権の政治姿勢と政策をただすことが急務だ」と訴えました。

地域の話 アレコレ

奥出雲 コロナ対策など 田食議員が質問

政府は新型コロナの緊急経済対策で、国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免を行うよう地方自治体に求め、全額財政支援するとしています。ところが、対象者は相当数あるにも関わらず、ほとんど申請されていないことを指摘。丁寧でわかりやすいチラシ配布など改めて周知徹底を行い、商工会等と協力して該当者への声かけ、窓口対応の改善を要請しました。

大田 原爆の絵展を開催 図書館と新婦人共催

8月3日〜17日まで仁摩図書館で「高校生が描く被爆体験画展」が、図書館と新日本婦人の会

松江 避難所の改善を 多田議員が要求

多田議員―指定避難所で3密対策や備蓄が不十分

の共催で開かれ、約700人が来館しました。原爆被害の実相を後世に伝え、被爆体験を継承するために、広島平和記念資料館と広島市立基町高等学校が共同して取り組んでいます。2007年〜15年末現在で63作品が完成しています。高校生は被爆体験証言者から話を聞き、約1年かけて仕上げます。被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切実な願いを自分のものにし、筆舌に尽くしがたい体験を一枚の絵に描き上げています。(「大田民報」より)

島根原発・巡視未実施防止を

サイトバンク建物巡視未実施問題で、中電が再発防止策を取りまとめ

尾村県議は「中電、協力会社の職員が福島原発事故の教訓や原発事故が生存権、財産権など基本的人権を奪い去った事実を深く学び認識することこそ根本的な再発防止策だ」と強調し、知事の認

松江 市民的議論を

松江北道路建設 市民的議論を

松江北道路ルート案に影響する土地所有者は概ね250人、影響がある建物は20棟あります。尾村県議は、所有者の特定が困難な土地や建設計画に疑義を持つ関係権利者もあり、用地買収は困難だと指摘し、「住民合意が不十分なために完成まで15年を要した城山北公園線の教訓に学ぶべき」と強調。「物流の効率化、渋滞緩和が建設目的だったが、コロナ禍でテレワークが進むなど社会

訂正

前号1367号「地域の話 アレコレ」の「有服温泉」とあるのは「有福温泉」の誤りでした。

ジェンダー視点を政策決定に

尾村県議は「給付金は世帯主ではなく、個人へ」との声を重く受け止め、受給権者は個人とすべきと述べ、「世帯主」規定は廃止すべき」と強調。政策決定にジェンダーの視点を取り入れるよう求めました。

半場祐子女性活躍推進統括監は「あらゆる分野で女性の参画拡大を図る必要がある」と答えました。